

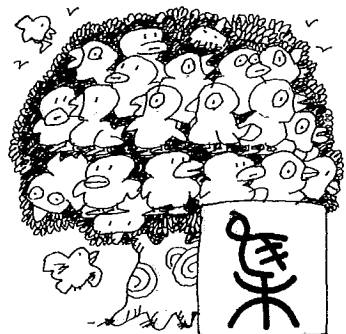
集

13年

シユウ
あつまる・あ
つめる・つど
う

12画 イ イ 仔 什 佳 集

なりたち 古い字は彙で、鳥の集まりを表した蟲と、木のの会意字。鳥は木の上に集まるので、蟲に木を加えて彙とした。今の字は、佳(ふるとり)と木のの会意字。集まる・集めること。



いみじゆく
▼集まる。集める。
集合：①一か所に集まること。
【例】集合場所 ②数学で、一つの基準に当てはまるものの集まり。

集中：一か所に集まること。
集めること。【例】集中力

集金：金を集めること。

召集：天皇の名のもとに召集めること。特に国会議員や在郷軍人を召集集めること。【例】召集令状

招集：招き集めること。
集散：集まることと散ること。
集めることと散らすこと。

【例】離合集散
集めたもの。特に文章を集めた本。

詩集：いくつかの詩を集めた本。

全集：ある作家やある分野の作品を全部集めた書物。

離

19画 ナ 立 离 离 离 离

リ
はなれる・は
なす

なりたち 山の神をかたどった鳥と、鳥の形をかたどった佳(ふるとり)との会意形声字。山の神と鳥とが会った形の字だが、すぐに「はなれる」ことを意味する。今は「別れ離れる」の意味に多く使われるが、古くは「会う」の意味に使われた。



いみじゆく
▼離れる。離す。

離陸：陸を離れること。特に飛行機が飛び立つこと。

離郷：故郷を離れること。

離島：①遠く離れた島。離れ島。②島を離れること。

離職：職業を離れること。退職または、失業すること。

離乳：乳離れ。幼児が乳以外の物を食べるようになること。【例】離乳食

離反：離れ背くこと。

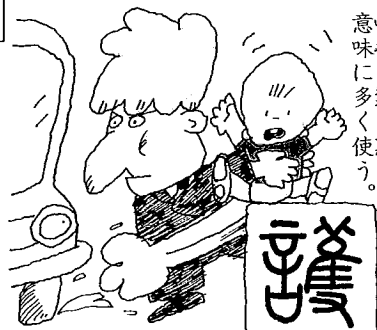
離合：離れることと集まること。【例】離合集散

別れる。
別離：別れること。【用例】別離の涙。

離別：①別離と同意。②夫婦の関係を断つこと。離婚。

よみかた 離縁・離京・離散・離脱・隔離・距離・支離滅裂・不即不离・分離

離護



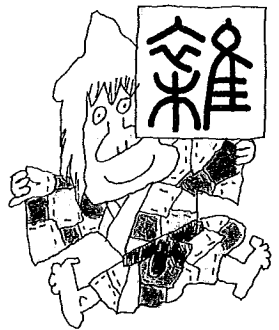
雑

15年

ザツ・ゾウ

14画 九 糸 刺 刺 新 雑

なりたち 旧字体は雜。衣の変形した糸と、集との会意形声字。端切れ(半端な布切れ)を集めて裁った衣服のこと。色々な色彩の布が混じっている。混じる・混ぜる・色色。また、卑しい人の着物という意味から「卑しい」意味。



いみじゆく
▼混じる。混ぜる。

雑種：種々のものが混じったもの。特に動物や植物で、違った種類のもの間に生まれたものをいう。

雑居：色々な人が混じり合っ

て住むこと。特に、一軒の家に何家族も暮らしていることや、違った国の人が混じり合っ住むこと。

統一が無い。

雑然：まとまりや統一がなくごたごたしていること。

重要でない。

雑用：重要でない、細々とした用事。

粗末な。卑しい。

雑人：自分の卑しい者。

よみかた 雑音・雑感・雑穀・雑草・雑踏・雑念・雑木林

さんこう 特別なよみかた↓
雑魚

護

15画 ナ 立 護 護 護 護

ゴ

なりたち 旧字体は護。佳は木(護)は、護はミミズクを捕獲して保護すること。護は、佳と言(こんべん)との会意形声字で、「弁護する・かばう」ことを表した字。今は「守る」意味に多く使う。

いみじゆく
▼守る。かばう。

守護：①守りかばうこと。【例】守護者 ②鎌倉(今)・室町時代、各地方の守り手として置かれた役人。

保護：弱い者を危険などから守ること。【例】保護者

救護：人を救助し、看護すること。【例】救護活動

「警固」とも書く。

加護：神仏が、その人に守護を加えること。【用例】神の御加護。

また、その人。

護身：身を守ること。

護送：人や貴重品を守りながら送り届けること。

よみかた 護持・援護・弁護